

## 地域産業の活性化

だと認識しています。また、これからのまちづくりには地域力が必要だと考えており、これからも振興会の役割をさらに大きなものにしていただくとともに、市としても連携を強化していきたいと考えています。

### 問

南丹市は、50歳以上にとって住みよいまちランキングで8位となっていた。広域で宅地開発が進んでいる所もあれば限界集落の所もあり、なかなか実感として湧いてこない。8番目にランキングしたことをどのようにアピールしていくのか。

〔八木公民館〕

### 答

順位はそのような状況ですが、市民の皆さんが満足されているのが重要だと思っています。住んで良かったと思っただけで、住んでよかったと思っただけのまちづくり、実感していただければならぬと考えており、そのことが南丹市をアピールすることにつながると考えています。

### 問

これまで農地を守ってきた人たちが、地主さんに土地を返される事例が出てきた。農地が荒れていく姿を見るのは寂しい。これからどのようにしていけばよいのか考えているところである。

〔興風交流センター〕

### 答

耕作放棄地が増え、山が荒れるという状況は市にとって最大の課題です。南丹市へ来られた方は、「自然がたくさん残っている」と言われますが、私は「守っていた方がいいのだ」と強く言っています。この大変厳しい状況の中で、農林業



▲地域の人たちの手により手入れされた山林

をしていたっており、地域の人たちの努力によって、森林が守られ、環境が守られ、国土保全がされているというのが現状だと認識しています。これらのことを踏まえながら、さまざまな取り組みを進めていきたいと考えています。

### 問

山林について、手入れする段階は終わり、商品化する段階になった。農業の場合はほ場整備や新規就農者支援などがあるが、林業関係の手立てはないのか。

〔神吉自治振興会館〕

### 答

商品化できる木はあるのに、需要がないので切り出せず、切り出せば損失が出る状況となっております。しかし、木材は戦略物資になってきており、このままの状況が続けば外国から木材が入ってこなくなるのが考えられます。そうなれば林業は重要な産業になります。またバイオオマスの分野で注目されているとともに、ペレットストーブの需要も増えています。大変厳しい時代で、行政ができることも限られています。市民の皆さんと力を合わ

### 問

鹿が多くて非常に困っている。もっと鹿を駆除してもらえないか。

〔川辺小学校〕

### 答

野生鳥獣対策については、抜本的な対策がなく大変苦慮していますが、他の市町村と比べ、多額の予算を付けて対応をしている状況です。対策の一つは柵などの防御施設の充実、もう一つは個体の削減です。国や京都府の制度を最大限活用しながら、引き続き対応をしていきたいと考えています。



▲鳥獣害対策ネットに囲まれている畑